

愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所《災害と文化財》講座 第7回

「原爆の図」

— よみがえる想い —

「原爆の図」の保存と継承

原爆の図丸木美術館（埼玉県）が所蔵する「原爆の図」屏風14作品のうち、第一部《幽霊》は愛知県立芸術大学で修復が進められています。丸木位里・俊夫妻が共同制作した《幽霊》は、70年以上もの間各地を渡り歩き、様々な目に触れられて今日まで伝えられてきました。この作品に込められた人々の「想い」をいま、あらためて考えます。

2022 **11/16** **水** 13:30~16:00



愛知県立大学 S101 教室 入場無料 要事前申し込み・先着 100 名
オンライン参加も可能・申込先着 500 名

講演プログラム

「原爆の図」はなぜ描かれたか —戦後社会と原爆表象

岡村幸宣（原爆の図丸木美術館）

「原爆の図」を未来に残すために —作品を守り、伝えていく取り組み

後藤秀聖（原爆の図丸木美術館）

「原爆の図」第一部《幽霊》修復経過報告

磯谷明子（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所）

新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更する場合がございます。最新の情報は下記の愛知県立芸術大学ウェブサイトにてご確認ください。

注意！会場は愛知県立大学です。芸術大学ではありません。



申込はこちら



申込方法

11/9 までに左の QR コードからお申し込みください。愛知県立芸術大学 Web からもお申込みいただけます。
<https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

お問合せ

愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課
☎ 0561-76-2873
(受付時間 平日 9:00 ~ 17:30)
メール geijo@mail.aichi-fam-u.ac.jp

主催 愛知県立芸術大学
協力 愛知県立大学人間の尊厳と平和のための人文社会研究所